

長野市復興だより ワン・ハート

ONE  HEART

地域の皆さんの生活を全力でサポート

まちの縁側 ぬくぬく亭(豊野地区)

905軒の住宅被害があった豊野地区では、住民の多くが避難・転居し、コミュニティが分断された状態が続いています。地域住民が集まって気軽にお茶を飲んだり、おしゃべりができるようにと、昨年12月に12の団体が協働して立ち上げた住民の交流拠点が、「まちの縁側 ぬくぬく亭」です。

社会福祉法人賛育会豊野事業所を中心にサロンを運営するほか、炊き出し、中学生への学習支援、住宅の泥出し、清掃などのボランティアを行ってきました。3月以降、新型コロナウイルスの影響で炊き出しができなくなってからは、一人暮らしのお年寄りなどを対象とした日曜日の配食サービスを展開してきました(6月以降は食材支援に移行予定)。

ぬくぬく亭のリーダーとして15名ほどのスタッフを束ねるのは、賛育会の介護士春原圭太さん。コロナウイルスの影響で、ぬくぬく亭の利用者数は激減していますが、「災害から7ヶ月が経ち、徐々に皆さんの住宅環境も整ってきていると感じます。とはいえ、地域を見回り、現状を把握して地図に落とし込む「ローリング作業」などは日々更新していく必要があるので、引き続き地域の皆さんの安全を守るために全力で取り組んでいきます」と力強く語りました。

〔 INFORMATION 〕

まちの縁側ぬくぬく亭

長野市豊野町豊野631
長野市豊野支所西側駐車場
営業時間/10:00~17:00
TEL/090-4912-7936

河川や排水機場など 被災施設の復旧状況についてお知らせします。

出水期を前に、千曲川の決壊箇所や、浅川、蛭川などの千曲川支川の被災箇所の復旧工事を急ピッチで進めています。これからも、国、県、市が連携した「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」をもとに、河川整備によるハード対策と流域における対策や地域連携によるソフト対策を一体的かつ緊急的に推進してまいります。

災害復旧工事の進み具合

千曲川 長沼(穂保)地区

決壊箇所の堤防の復旧を進めています

堤防全体をコンクリートブロックなどで補強する工事を実施しています。



お問い合わせ先/国土交通省 千曲川河川事務所 TEL:026-227-7611

千曲川 篠ノ井塩崎地区

越水した堤防の復旧を進めています

堤防の川裏側(宅地側)の法尻部^{のりじり}をコンクリートブロックにより補強する工事を実施しています。



蛭川 松代地区

越水した堤防の復旧が完了しました

越水により崩れた堤防を復旧し、堤防の高上げ(コンクリート壁)を行いました。



お問い合わせ先/長野県長野建設事務所 TEL:026-234-9594

浅川 豊野地区

被災した護岸等の復旧を進めています

被災した護岸を復旧しました。決壊した堤防を復旧しました。(浅川 豊野(赤沼ポンプ場前)) (三念沢 石(三念沢ポンプ場前))



お問い合わせ先/長野県浅川改良事務所 TEL:026-234-9548

排水機場・雨水ポンプ場 豊野・長沼・篠ノ井地区

水没により損傷した排水機場や雨水ポンプ場[浅川第一、第二排水機場・長沼排水機場・大道橋排水機場・沖雨水ポンプ場・赤沼雨水ポンプ場・三念沢雨水ポンプ場・小森第一排水機場]では、復旧工事を進めています。

出水期において、本稼働が整わない施設については、仮設備により排水を行います。



①被災農地の土砂撤去が完了しました

千曲川の氾濫により農地に大量に堆積した土砂の撤去を進めてまいりましたが、調整の必要な一部地区を除き、4月末までに概ね完了いたしました。市民の皆様並びに建設事業者の皆様のご協力に感謝いたします。



排土前



排土後



土砂撤去により、リンゴ畑に今年もきれいな花が咲きました

②災害ごみの個別回収を実施します

新型コロナウイルスの影響により、被災宅において災害廃棄物の運搬をボランティアへ依頼することが難しい状況となっているため、市の委託業者による個別回収を実施します。回収を希望される方は以下によりお申し込みをお願いします。

受付期間	9月30日(水)まで
受付日	月曜日から金曜日(祝日を除く)
受付時間	9時00分から17時00分
お問い合わせ	廃棄物対策課 TEL:026-224-7320
お申し込み先	公費解体コールセンター TEL:0120-567-272

個別収集の流れ

公費解体コールセンターへ電話にて申し込み

【お申し込み時にお聞きすること】

①氏名 ②電話番号 ③住所 ④ごみの内容
⑤ごみの量 ⑥回収希望日

※日曜祝日は回収しません。
また、内容によって事前に下見をする場合があります。

回収委託業者から回収日について連絡

予約日当日に申し込み者立ち会いの下、回収

③「被災住宅の応急修理」の申し込みはお済みですか？

対象となる方で、まだ申し込みがお済みでない方は、お早めにお申し込みください。

対象となる方 (次のすべてを満たす方)	①住宅が半壊以上、または一部損壊(準半壊)の被害を受けている方 ②応急修理を行った後、その住宅で生活する方(公費解体を利用しない方) ③応急仮設住宅(民間借上型、建設型)を利用しない方 ④自らの資力では応急修理をすることができない方(大規模半壊以上は除く)
応急修理の限度額	半壊以上 595,000円 / 一部損壊(準半壊) 300,000円
お申し込み・お問い合わせ先	長野市役所第二庁舎7階 建築指導課 応急修理担当 TEL:026-224-8902

④中小企業者支援事業補助金をご活用ください

被災した中小企業の皆様の事業再建を支援し、持続可能な地域経済の回復を図るため、復旧や販路開拓等の事業に要する費用の一部を支援する長野市被災中小企業者支援事業補助金の申請を受け付けています。詳細については、以下のURL、または右のQRコードをご参照ください。



04



関係人口を増やして地域を元気に

津野復光隊
渡辺 美佐 さん

長野市長沼・津野地区の果樹農家・渡辺美佐さんは、自宅と1ヘクタール以上の田畑を浸水する甚大な被害に遭いながらも、津野地区の農地の復旧、農業の再生を目指す「津野復光隊」の一員として、災害当初から地域の復興のために尽力しています。これまでの取り組みの経過や、現在直面している課題についてお話を伺いました。

地域の復興なくして、農家の復興なし

津野復光隊は、津野地区の下川英紀さんを中心に、約10軒の農家が協働して地区の復興に向けて取り組むチームで、水害が起きた



当初は自分たちの重機で土壌復旧作業を行った(提供写真)

2019年10月末から活動しています。全世界帯が被災した津野では、地域が復興しなければ、各家の復興もあり得ません。住民全員が「復光隊員」だと思っていて、会議で決めたことを皆さんの理解やご協力をいただきながら進めています。当初は、農業ボランティアの皆さんと地区内の各農家さんを繋いだり、自分たちで重機を出して泥出しなどを行っていました。市で発注していただいた土壌復旧業者さんの作業が予想以上に早く進み、大勢のボランティアの方のおかげで、4月までに土壌復旧がほぼ完了しました。

コミュニティスペースの再建

津野地区はもともと住民同士の仲が良く、長沼地区の運動会や球技大会では一番人数が少ないにも関わらず、団結力の強さが発揮

されます。災害以降は、20代後半から60代後半までの女性たちが復興のために立ち上がり、地域の課題を話し合う「女子会」を行っています(コロナの影響で現在は活動自粛)。



女子会では地区の将来像を共有(左)。住宅解体の際に出た厨房器具などでキッチンを手作り

そこで出た意見のひとつが、コミュニティスペースとしての津野公会堂の再建です。本格的な再建のためには費用も時間もかかるため、ボランティアさんの力を借りて自主的に仮再建工事を進め、3月末にはキッチンやトイレも使えるようになりました。さらに、津野地区の共有農地にコンテナを設置。地区を離れてしまう人でも気軽に農作業ができるように、道具の共有や、休憩ができる場所になるように整備を進めています。

関係人口を生み出し地域の復興を

被災直後は、“もう農家をやめる”と言っていた

ものの、畑が予想以上に早くきれいになったので、“またやるぞ”と前向きになる人が増えています。人口を被災前と同じ状態に戻すのはなかなか難しいですが、ボランティアさんを含め、「関係人口」(*)を増やすことが地域の復興につながると思います。そのためにできることには積極的に取り組みたいです。まずは、今年もおいしいりんごができるように頑張ります!

※定住人口でも、観光などの交流人口でもなく、地域や地域の人々と多様に関わる人々のこと



りんごの受粉を担うマメコバチの巣箱を手作りし、20数軒に無料配布した

津野地区の農家の方へ



津野地区の共有地に作業小屋を設置しました。共同で使える農機具も順次整えていきますので、お気軽にご利用ください。

Facebook「津野復光隊」で検索



長野市復興だより ワン・ハート

ONE HEART

Issue 03 【発行】長野市企画政策部復興局復興推進課
電話：026-224-9728 e-mail: fukko@city.nagano.lg.jp

詳しい情報、市からのお知らせは、右記のURLからご確認願います。URL: <https://www.city.nagano.nagano.jp/>